

会議の名称	平成29年度第1回 伊予市健康づくり・食育推進協議会
開催年月日	平成29年8月30日（水）
開始・終了時刻	午後1時30分から午後3時10分
開催場所	伊予市保健センター
会長氏名	斉藤 功
副会長氏名	稲田 貫
出席委員（者）氏名	斉藤功、稲田貫、佐々木典彦、荒木周一郎、西田孝博、本田恵津子、徳田徹、藤井祐一郎、浅山貢、関上知美、小畑昇子、吉澤三千久
欠席委員（者）氏名	川口和男、平野孝志、向井早苗
傍聴者氏名	傍聴者なし
説明者の職氏名	大西課長、篠原課長補佐、武智課長補佐、谷本係長、山内係長
事務局職員職氏名	武智部長、大西課長、篠原課長補佐、武智課長補佐、大谷課長補佐、谷本係長、山内係長、戸田係長、松浦主任歯科衛生士、小倉主査
会議次第	<p>開会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 委任状及び任命状の交付</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 自己紹介</li> <li>4 協議会について</li> <li>5 会長、副会長の選任について</li> <li>6 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 健康づくり・食育推進計画について</li> <li>(2) 健康づくりアンケート調査結果報告</li> <li>(3) 健康づくり計画の中間評価及び食育推進計画の評価について</li> <li>(4) 計画の骨子案について</li> <li>(5) 自由意見</li> </ol> </li> <li>7 その他</li> </ol> <p>閉会</p>
配布資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会次第</li> <li>○伊予市健康づくり・食育推進協議会条例</li> <li>○委員名簿</li> <li>○資料 1 伊予市健康づくり・食育推進計画について</li> <li>○資料 2 協議会資料</li> <li>○資料 3 第2健康づくり計画ダイジェスト版</li> <li>○資料 4 いよしの食育物語ダイジェスト版</li> <li>○資料 5 P@CKTTO!</li> </ul>

会議録

発言者	会議の概要
事務局	<p>皆さんお待たせいたしました。ただいまより第1回伊予市健康づくり・食育推進協議会を開催させていただきます。</p> <p>皆様には御多忙の中、御出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日、進行役を務めさせていただきます、私、健康増進課長の西大でございませう。よろしくお願ひいたします。これより着席して進行のほうをさせていただきます。</p> <p>本協議会では、伊予市審議会等の委員の公募並びに会議及び会議録の公開に関する規則第14条の規定に基づきまして、会議の傍聴を認めております。事前に市ホームページでお知らせをいたしましたが、傍聴希望はありませんでしたので、御報告を申し上げます。また、同規則に基づく会議録を作成するために会議中の発言を録音させていただきますので、マイクでの御発言に御協力をいただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の配付資料について確認をさせていただきます。</p> <p>まず、協議会資料と第2次健康づくり計画ダイジェスト版、いよしの食育物語ダイジェスト版といよの食と食文化のまちづくり推進委員会が発行しております小冊子「P@CKTTO!」（ぱくっと!）を御用意しております。不足のものはございませうでしょうか。</p> <p>ないようですので、進めさせていただきます。</p> <p>まず、会に先立ちまして、委嘱状及び任命状の交付を行いたいと存じます。市長がお一人ずつお渡しをいたしますので、お名前をお呼びしましたら御起立願ひますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、愛媛大学地域健康システム看護学講座教授齊藤功様。</p>
武智市長	<p>委嘱状。齊藤功様。伊予市健康づくり・食育推進協議会委員に委嘱します。平成29年8月30日。伊予市長武智邦典。どうぞよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>続きまして、伊予医師会伊予市支部代表稲田貫様。</p>
武智市長	<p>委嘱状。稲田貫様。以下同文であります。どうぞよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>伊予歯科医師会伊予市代表佐々木典彦様。</p>
武智市長	<p>委嘱状。佐々木典彦様。どうぞよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>中予保健所健康増進課課長荒木周一郎様。</p>
武智市長	<p>委嘱状。荒木周一郎様。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>いよし健康づくりの会会長西田孝博様。</p>
武智市長	<p>委嘱状。西田孝博様。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>伊予市食生活改善推進協議会会長本田恵津子様。</p>
武智市長	<p>委嘱状。本田恵津子様。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、伊予市青年農業者協議会代表徳田徹様。</p>
武智市長	<p>委嘱状。徳田徹様。どうぞよろしくお願ひします。</p>

<p>事務局 武智市長 事務局 武智市長</p>	<p>続きまして、いよの食と食文化のまちづくり推進委員会代表藤井祐一郎様。 委嘱状。藤井祐一郎様。どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>続きまして、伊予市校長会会長表浅山貢様。 任命状。浅山貢様。伊予市健康づくり・食育推進協議会委員に委嘱します。</p>
<p>事務局 武智市長 事務局 武智市長 事務局 武智市長 事務局</p>	<p>平成 29 年 8 月 30 日。伊予市長武智邦典。どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>伊予市小中学校養護教諭代表関上知美様。 任命状。関上知美様。どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>続きまして、伊予市栄養教諭代表小畑昇子様。 任命状。小畑昇子様。どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>続きまして、公募委員吉澤三千久様。 委嘱状。吉澤三千久様。どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
<p>武智市長</p>	<p>なお、本日ですが、商工会議所の川口様、公募委員の平野様、向井様からは欠席の御連絡をいただいております。</p> <p>それでは、伊予市長より御挨拶申し上げます。</p> <p>第 1 回伊予市健康づくり・食育推進協議会の開催に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。</p> <p>皆様方には公私ともに御多用の中、本協議会委員を御承諾いただきますとともに、本日の会に御出席を賜り、まことにありがとうございます。</p> <p>また、平素から市政各般にわたりまして格別の御支援と御協力を賜っておりますこと、この場をおかりしまして心より感謝とお礼を申し上げます。</p> <p>さて、本協議会は、さきの 6 月市議会で可決されました伊予市健康づくり・食育推進協議会条例に基づき設置するものであります。これまでは健康増進法に基づき健康づくり計画、食育基本法に基づき食育推進計画を策定し、それぞれにおいて行政、関係機関及び市民の皆様方と協働し推進をしてまいりましたが、本年が両計画の評価、見直しの時期に当たり、また健康と食育問題は密接に関連し、総合的かつ計画的に取り組む必要があるため、両計画を一体化し、今年度中に健康づくり・食育推進計画を策定することといたしました。委員の皆様方におかれましては、それぞれのお立場から健康づくり、食育の課題や推進に関し、率直な御意見を賜りますとともに、市民一人一人が自分の問題として取り組み、実行力のあるわかりやすい計画の策定のため、お力添えをいただきますようよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>結びに当たりまして、本協議会のますますの御発展と本日御参加の皆様方の御健康また御活躍を心から祈念を申し上げまして、簡単ではございますけれども御挨拶にかえさせていただきます。どうぞ今日はよろしくお願いいいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>続きまして、委員より自己紹介をお願いしたいと存じます。</p> <p>お配りしております協議会資料の 2 ページになるんですが、委員名簿の順に簡単な自己紹介をお願いしたいと考えております。</p>

<p>委員</p>	<p>それでは、斉藤様よりお願いいたします。</p> <p>○斉藤 功委員 愛媛大学大学院医学系研究科の斉藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>○稲田 貫委員 伊予医師会の稲田と申します。鳥ノ木で内科を開業しております。よろしくお願いいたします。</p> <p>○佐々木典彦委員 伊予歯科医師会の顧問をやっております佐々木と申します。私は歯科医です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>○荒木周一郎委員 愛媛県の中予保健所健康増進課課長をいたしております荒木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>○西田孝博委員 いよし健康づくりの会の会長をしております西田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>○本田恵津子委員 伊予市食生活改善推進協議会の会長をこの春から始めましたので、まだ何もわかりません。どうぞよろしくお願ひします。本田恵津子です。</p> <p>○徳田 徹委員 伊予市青年農業者協議会より参りました徳田徹と申します。一つだけ、私どもの活動といたしまして、この「P@CKTTO！」(ぱくっと!)さんの9ページのほうに、園児たちがトウモロコシの収穫体験、試食とございまして、このような保育園児たち等の食育の活動を毎年いたしております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>○藤井祐一郎委員 こんにちは。いよの食と食文化のまちづくり推進委員会の副委員長長の藤井です。よろしくお願ひします。</p> <p>○浅山 貢委員 失礼します。伊予市校長会のほうで会長をさせていただいております伊予中学校校長の浅山貢と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>○関上知美委員 失礼します。伊予市小中学校養護教諭部会の代表を今年度させていただいております中山小学校養護教諭の関上と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>○小畑昇子委員 失礼します。郡小中学校栄養教諭の小畑と申します。伊予市には私以外に港南中学校と伊予小学校に栄養教諭がいます。私たち学校で食育の授業をしたり、給食センターで地場産物、できるだけ伊予産のものを使おうとしているんですけども、いろんな支障もありまして、県内産、伊予市産、どんどん増やしいけたらいいなという思いのもと、日々頑張っております。よろしくお願ひいたします。</p> <p>○吉澤三千久委員 失礼いたします。公募委員として今回参加させていただくことになりました吉澤三千久と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>また、本日ですけど、中予保健所健康増進課の植田係長にも御出席をいただいております。よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、事務局から御紹介をいたします。</p>

武智市長  
事務局

市民福祉部長の武智と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。  
健康増進課長と保健センターの所長を務めております大西です。よろしくお願ひいたします。

課長補佐の篠原と申します。よろしくお願ひいたします。

栄養士の山内と申します。よろしくお願ひいたします。

栄養士の戸田と申します。よろしくお願ひいたします。

保健師の谷本と申します。よろしくお願ひいたします。

保健師の小倉と申します。よろしくお願ひいたします。

課長補佐の大谷と申します。よろしくお願ひいたします。

課長補佐の武智と申します。よろしくお願ひいたします。

歯科衛生士松浦と申します。よろしくお願ひいたします。

市長ですが、この後、別の公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。

済みません。どうぞよろしくお願ひいたします。

ここで、協議に入ります前に、当協議会につきまして事務局より説明をいたします。

失礼します。それでは、当協議会につきまして簡単に説明をいたします。

お手元にごございます資料の3ページをお開きください。

本協議会は、第2条にごございます事項について調査及び審議をするものでございます。

最初に、健康増進法に基づく健康増進計画の策定に関すること、2つ目に食育基本法に基づく食育推進計画の策定に関すること、3つ目に計画の見直しに関すること、4つ目に健康づくり及び食育に関する施策の推進に関すること、以上の4点でございます。

続きまして、委員の任期でございますが、第4条にごございますとおり、委嘱または任命の日の属する年度の翌々年度の3月31日、すなわち本日より平成32年3月31日までが任期となっております。ただし、委員が任期中に入れかわった場合、補欠委員の任期は前任者の残任期間となります。

委員の報酬に関しまして御説明いたします。

市の審議会等におきましては、伊予市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例に基づきまして、委員の皆様は報酬をお出ししております。会長の報酬は日額1万5,000円、その他の委員の報酬は5,700円でございます。

簡単ではございますが、以上で協議会の趣旨等についての説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

続きまして、会長及び副会長を選任いたします。

協議会条例第5条の規定では、協議会には会長及び副会長を各1名置き、委員の互選によりこれを定めることとなっております。

会長及び副会長の選任について、各委員の皆様、御意見はございますか。

会長	<p>意見がないようでしたら、事務局案を述べさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、会長に斉藤功様、副会長に稲田貫様にお願いをしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>皆様の同意をいただきましたので、斉藤会長、稲田副会長には前の席に移動をお願いします。</p> <p>それでは、斉藤会長、稲田副会長様に一言御挨拶をさせていただきたいと思います。</p> <p>改めまして皆さんこんにちは。今、本協議会の会長を拝命させていただきました愛媛大の斉藤と申します。</p> <p>私は、職種は医師ですが、特に公衆衛生とかこういう健康づくりのほうをメインにやっています。いわゆる予防活動を中心にやっているところであり、現在、県の生活習慣病予防協議会とか医療費適正化等、各種かかわらせていただいております、市町のほうも幾つかのところでもこういった協議会の幹事もさせていただいているところでもあります。</p> <p>伊予市におきましては、今年度からの参加となりますけれども、ちょうど平成 29 年度から 30 年度に大きくいろんなことが変わってきておりますので、よりよい計画、協議ができることを期待しております。今日は御活発な御発言のほうをまた後からお願いすることになると思いますけれども、忌憚のない御意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
副会長	<p>副会長に選ばれました稲田です。</p> <p>僕は内科の医師で、食育、健康づくりからの幼い頃から老人まで大事なことだと思っております。特に老人の場合には寝たきり防止などにも運動それから食を軽重して、そしていわゆる元気で老いておくというような話し合いができる協議会にできればいいと思っております。どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、この後の議事進行につきましては、協議会条例第 6 条の規定に基づきまして、斉藤会長に議長をお願いしたいと存じます。</p> <p>斉藤会長、よろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>それでは、これからお手元の次第に沿って協議のほうを始めていきたいと思っております。</p>
事務局	<p>これが 6 番の議事ですね。議事のところに(1)番から(4)番までありますけれども、その内容について、これから事務局に説明をしていただこうと思っております。また、(5)のところの自由意見というところで各委員さんのほうから御意見のほうを伺いたいと思っています。</p> <p>また、それぞれの項目の後に少し御質問できる時間をとりますので、適宜気がついたところを御発言いただけるとありがたいなと思っております。</p> <p>それから、進行中の御発言については、挙手をいただきまして、事務局から</p>

事務局

マイクをお持ちいたしますので、マイクを通して御発言いただきますよう重ねてお願いいたします。

それでは、議題の(1)です。健康づくり・食育推進計画について、事務局より説明をお願いします。

それでは、伊予市健康づくり・食育推進計画について御説明いたします。座って失礼いたします。

資料の6ページをお開きください。

健康づくり計画についてですけれども、健康づくり計画は健康増進法に基づく計画で、健康寿命の延伸、健康格差の縮小を目指したものでございます。

また、食育推進計画は、食育基本法に基づく計画で、「食を育み、愛を奏でる、ふるさと伊予市」を基本理念といたしております。

お手元のほうに両方のダイジェスト版を配付させていただきましたが、どちらの計画も市の健康や食生活の課題について市民や地域、関係団体、行政が一体となって取り組む計画となっております。

今年6月の議会で、伊予市健康づくり・食育推進協議会条例が制定されました。これは健康づくり計画と食育計画の2つの法定計画を一本化することで今まで以上に地域や市民の皆さんが健康づくりや食育の取り組みについて認識し、みずから実行できるようなものにしたいと考えております。今年度、健康づくり計画のほうで中間評価、食育推進計画が見直しの年となりますので、一体化した健康づくり・食育推進計画を今年度中に策定する予定でございます。

続きまして、2番の計画の位置づけのところをごらんください。

国や愛媛県の計画を踏まえ、伊予市総合計画を上位計画とし、また地域福祉計画、高齢者保健福祉計画、特定健康診査等実施計画ほかの関係計画のほうと整合性を図る計画といたします。

続きまして、7ページをごらんください。

計画の期間ですが、表のとおり、平成30年度から平成35年度までの6カ年計画といたします。また、特定健康診査等実施計画についてですが、これまでは健康づくり計画の中に内包し、策定しておりましたが、計画が国保加入者対象のデータをもとに策定しているという性質を踏まえ、第3期の計画より健康づくり計画とは分離させ、データヘルス計画と一体化し作成することといたします。

続きまして、4番目の伊予市健康づくり・食育推進協議会の役割についてですが、本計画の基本的事項を検討し、関係機関及び関係団体と連携し、総合的な健康づくりの目標と方向性を定めるため、委員の皆様からの意見を参考に計画に反映したいと思います。計画策定後につきましては、計画の推進状況を確認いただき、健康づくり・食育推進事業がより効果的に実施できるよう意見をいただく予定でございます。

続きまして、8ページをお開きください。

	<p>計画策定のスケジュールでございます。</p> <p>市民のアンケートの実施についてですが、これは平成 29 年 3 月から 4 月に既に実施し、集計、現状把握、分析を行っております。これについては、後ほど担当者より御説明いたします。</p> <p>6 月議会に、条例の制定、予算の計上を行いました。7 月には、協議会の市民公募を行い、3 名の市民の方に委員委嘱をさせていただき、本日 8 月 30 日に第 1 回の協議会を開催しております。</p> <p>今後のスケジュールについてですが、11 月に第 2 回を開催し、計画素案についての意見をいただくこととし、意見を参考に計画を修正し、12 月の第 3 回の協議会で、修正した計画の確認や再度修正を行い、計画案を作成したいと思っております。12 月中にその計画案を市長に答申し、庁議の後、2 月に意見公募を行い、3 月に計画策定を行う予定でございます。</p> <p>平成 30 年度からは、計画の推進に向けた協議会を年 1 回程度開催することとしたいと思います。</p> <p>以上で計画についての説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの件について御意見、御質問等はないでしょうか。</p> <p>また、最後のところでも御意見伺うところありますけれども、今のところで何かございませんか。よろしいですか。</p>
<p>会長</p>	<p>次の議題の(2)です。健康づくりアンケート調査結果報告について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>健康づくりアンケート調査結果を報告します。</p> <p>資料の 9 ページをごらんください。</p> <p>3 月から 4 月にかけて健康づくり計画の中間評価と食育推進計画の最終評価及び次期計画の策定を行うため、生活習慣や健康づくり、食に対する意識等を把握するためにアンケート調査を実施しました。アンケート結果をもとに計画の進捗状況を評価し、次期計画の基礎資料とします。調査は、20 歳から 80 歳の成人と小・中高校生を対象に行いました。</p> <p>まず、成人対象アンケート実施方法ですが、実施期間は平成 29 年 4 月です。市内の 20 歳から 80 歳の 1,500 人を対象に健康づくりアンケート調査を行いました。対象者は、20 歳から 80 歳の伊予市民を無作為に抽出しました。4 月 30 日までに回答の返送をお願いする文章を添付したアンケートを 3 月末に発送し、5 月中旬までにおおむね回収しました。アンケートの回収率ですが、アンケートは 1,500 人に郵送し、そのうち 627 人から回答をいただきました。回収率は 41.8%です。</p> <p>小・中高校健康づくりアンケートの実施期間は、平成 29 年 3 月です。アンケートの実施方法は、市内の全小学 5 年生、中学 2 年生、伊予農業高等学校 2 年生を対象に健康づくりアンケート調査を実施しました。アンケートは学校内</p>



で生徒本人が記入しました。また、調査票は学校を通じて配布及び回収をしました。学年男女別回答数です。小学5年が298人、中学2年が342人、高校2年224人、合計864人から回答を得ました。学校アンケートの回収率は、学校を通じて配布及び回収をしましたので、100%に近くなっており、98.1%でした。

成人アンケートの世帯の構成ですが、親と子の2世代世帯が43.8%で一番多く、次に夫婦のみの1世代世帯が32.8%でした。現在、地域の役員や健康、医療サービス等の関係したボランティア活動など、何らかの地域活動をしていますかに対し、していると回答した人の割合は20歳以上で19.7%です。男女では大きな差はなく、年代では若い世代ほど地域活動をしている割合が低く、20歳代が3.3%と最も低くなっています。

社会参加の状況です。仕事をしている、または何かしらの地域活動をしているなどの社会参加をしている60歳以上の人の割合は69.2%です。御自身は地域のつながりが強いほうだと思いますかに対し、思うと答えた人の割合は、20歳以上で42.1%です。若い世代ほど地域の人たちのつながりが強いほうだと思う割合が低くなっています。つながりが強いほうだと思う割合は、70歳以上では49.7%、20歳代では10.0%です。

グラフの青は普通体重、赤は肥満、緑は痩せの割合です。女性より男性のほうが肥満の割合が高くなっています。20歳から60歳代男性の体格指数のBMIが25以上である肥満者の割合は26.2%、20歳から60歳代女性の割合は16.1%です。一方、BMIが18.5未満の痩せの割合は男性より女性が高く、20歳から60歳男性の痩せの割合は3.1%、女性の割合は10.7%です。

運動する習慣のある人の割合は、20歳以上で35%です。男性20歳から64歳の運動習慣者の割合は27.2%、女性20歳から64歳で22.4%です。65歳以上の世代よりも若い世代のほうが運動をしていない割合が高く、特に20歳から64歳の就労世代で男女とも七、八割が実施できていない現状が見られました。日常生活における歩数は、20歳から64歳では男性5,705歩、女性5,788歩で、女性のほうが多いです。65歳以上では男性5,138歩、女性5,033歩で、男性のほうが多くなっています。

足腰に痛みのある高齢者の割合についてですが、痛みのある人の割合は、男性58.7%、女性66.9%です。COPDという言葉を知っている人の割合は、20歳以上で17.6%です。認知度は低く、約8割は知らないと答えています。ロコモティブシンドロームという言葉を知っている人の割合は、20歳以上で21.1%です。

精神がくたくたになる人の割合で、アンケートで仕事や生活の中で精神的にくたくたになることがありますかに対し、いつもある、しばしばあると回答した人の割合は、20歳以上で18.8%です。年代別に見ると、20歳代が精神がくたくたになる人の割合が高くなっています。悩みを相談できる相手のいる人の

	<p>割合は、20歳から69歳で男性67.5%、女性88.1%です。女性のほうが相談相手のいる人の割合が高いです。睡眠による休養が十分にとれていない人の割合は、20歳以上で18.5%です。年代別に見ると、40代、次いで30代の睡眠による休養が十分にとれていない人の割合が高いです。</p> <p>たばこを吸っている人の割合は、20歳以上で11.6%です。喫煙率は男性19.3%、女性5.9%で、女性よりも男性の喫煙率が高くなっています。20歳以上で、家庭で受動喫煙の機会を有する人は35%、職場では20%です。生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人とは、1日当たりの飲む量が男性2合程度以上、女性1合程度以上と回答した人です。リスクを高める飲酒をしている人の割合は、20歳以上で男性27.6%です。女性は11.0%です。</p> <p>自分の歯は何本ありますかに対して、20本以上あると回答した80歳の人の割合は25%で、4人に1人は8020を達成をしています。60歳で24本以上の自分の歯を有する人の割合は23.1%です。40歳で24本以上、自分の歯を有する人の割合は83.3%です。8020運動を知っていますかに対し、知っていると答えた人の割合は20歳から60歳代で68.8%です。</p> <p>食事の味つけ、塩味についてどうですかに対して、薄味にしていると答えた人の割合は20歳以上で24.9%です。女性よりは男性のほうが薄味と答えた人が少なく、薄味にしている男性の割合は20.2%です。主食、主菜、副菜をそろえて1日に2回以上食べている人の割合は46.7%です。40歳代が32.4%で一番低い割合となっています。朝食に野菜料理を1皿以上食べる人の割合は、全体では32.4%です。食事の挨拶をする人の割合は46.0%です。食事づくりに参加する人の割合は、男性で32.3%、女性は75.3%です。</p> <p>農業、漁業、林業などの体験をしたことがある人の割合は、小学5年生が87.6%、中学2年生が83.6%です。朝・昼・夕食の3食をほとんど毎日食べている小学5年生の割合は89.9%です。ほとんど食べない者の割合は1.0%です。学校の授業以外で運動をしていますかという問いに対して、週に3日から5日以上と回答した小学5年生の男子は82%、女子は68.2%です。</p>
会長	<p>以上で健康づくりアンケートの調査結果についての報告を終わります。</p>
	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>ただいまの件について何か御質問とかないですか。</p>
	<p>私のほうから聞きたいんですけど、歩数の質問がありますね、日常生活における歩数、この歩数っていうのはどうやって調べた数値ですか。</p>
事務局	<p>アンケートで何歩歩いていますかという質問がありまして、そこに答えた方が自分で数字を何歩っていう数字を記入しました。</p>
	<p>そうすると、大体平均的に3,000歩とか5,000歩とか、そんな感じですかね、はい、ありがとうございました。</p>
会長	<p>非常に興味深いデータがたくさんあるので、こういったところが恐らく計画づくりの策定の基礎的な資料になると思いますので、何かありますか、大丈夫</p>

事務局

ですか。

また、後から伺いますので、そのときにでもまた少しお尋ねいただければと思います。

続いて、議題の(3)です。健康づくり計画の中間評価及び食育推進計画の評価について事務局より説明をお願いします。

それではまず、第2次伊予市健康づくり計画の中間評価について説明をいたします。

お手元のカラーの冊子の資料で、第2次伊予市健康づくり計画ダイジェスト版というのをお手元に御準備ください。

左上に計画の概念図というのがあります。そちらを見ていただけたらと思いますが、平成25年度に開始しました第2次伊予市健康づくり計画全体の大きな目標は、計画の概念図1番のところに書いてあります、健康寿命の延伸、健康格差の縮小と定めております。

また、この計画を進める上で大事なポイントとしているのが、健康寿命の延伸、健康格差の縮小と書いてあるすぐ上のところにありますけれども、市民みんなで作る健康の町を目指す姿としているということです。市民一人一人、関係団体、行政など、それぞれが健康づくり活動に取り組んで、力を合わせて支え合って進めていくというものです。そして、この大きな目標達成に向けて4つの取り組みの視点を基本的な方向性として掲げ、進めております。

概念図の一番下の部分で、黄色い線の囲みをごらんください。

そこに市民健康づくり運動による具体的な取り組みとあって、そこから上のほうへ1の大目標に向かって矢印が伸びていますけれども、下から順に、まずは5の個人の生活習慣及び社会環境の改善というのを通じて、2の生活習慣病の発症予防、重症化予防の徹底を図るとともに、3の社会生活を営むために必要な機能の維持向上や、4の健康を支え、守るための社会環境の整備を図れるよう、これら4つの柱に向かって取り組むことで、結果として一番上の健康寿命の延伸、健康格差の縮小を実現していくというものです。

この概念図の1から5の流れについて、伊予市においては全部で78の指標を定めて、伊予市健康づくり計画はまとめられております。

それでは本日お配りしております資料26ページをお開きください。

中間評価の結果について簡単に説明をさせていただきたいと思います。

第2次伊予市健康づくり計画の全指標78項目について、アンケートや直近の実績値から進捗状況をA改善している、B目標値に達成していないが、改善傾向にある、C変わらない、D悪化している、E設定した指標または把握方法が異なるため評価が困難の5段階で評価しました。全指標の78項目のうち、Eの評価が困難とした項目が6項目あり、最終的に中間評価では72項目について見ております。

評価AとBの目標達成、または改善傾向にあった主な項目について説明をさ

せていただきます。

**28** ページをお開きください。

上段にあります肝疾患、1つ目、2つ目の指標のB型肝炎、C型肝炎ウイルス検診の受診率と、同じく**28** ページの中段の特定健診、特定保健指導の実施率が増加しております。

その下の下段、こころの健康というところですが、その1つ目の指標、自殺者数が減少をしております。

**29** ページの中段、次世代の健康のところになりますけれども、上から2つ目の指標、運動やスポーツを習慣にしている小学校5年生の割合が増加しており、また肥満傾向にある小学校5年生の割合は減少が見られております。それから、出生時の体重が**2,500** グラム未満の低出生児の割合の減少も見られました。

同じページ**29** ページの中段の高齢者の健康のところですが、そちらの4つ目の指標にある、足、腰に痛みのある高齢者の割合は減っておりまして、その下、また社会参加をしている**60** 歳以上の割合が増加しております。

続いて、**31** ページをお開きください。

中段、喫煙のところの成人の喫煙率と職場、家庭で受動喫煙の機会を有する人の割合がそれぞれ減少しております。

**32** ページをごらんください。

ここの歯の口腔の健康のところの指標ですが、こちらほぼ全ての指標に関して改善傾向、または目標達成の状況にあります。

以上が目標達成または改善傾向にあった主な項目でした。

続いて、目標達成できていない主な項目について見ていきたいと思っております。評価Dの悪化している主な項目について見たいと思っております。

**26** ページの中段より少し上、健康寿命の延伸と健康格差の縮小の1つ目の指標にありますけれども、こちらの自分が健康であると自覚している期間の平均で、男性が**55.9** 歳と、健康だと自覚している期間が短くなっております。

同じく**26** ページの下です。生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底の、がんのところになりますけれども、がん検診のほうの指標が入っておりますが、こちら胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診と、こちら指標で掲げております全ての5つの検診の受診率が低下しております。

**27** ページの循環器疾患のところの下の方にある指標ですが、LDL、悪玉コレステロールの高い人の割合で、男性が増加しているという結果がありません。

**28** ページをお開きください。

真ん中のところの特定健診、特定保健指導のところの2つ目の指標です、メタボリックシンドロームの該当者の割合が多くなっております。

その同じく下にあるところの健康のところの指標ですが、2つ目の指標の精神がぐたぐたになる人の割合が増えております。

29 ページをごらんください。

一番上の次世代の健康のところですけども、1つ目の指標、朝昼夜の3食を必ず食べることに気をつけて食事をしている小学5年生の割合が減少をしております。

30 ページをごらんください。

栄養と食生活の一番上のところです。1つ目、2つ目の指標になりますが、主食、主菜、副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合が大きく減ってきております。また、その下ですけども、朝食を一人で食べる中学2年生の割合が増加しております。

29 ページにお戻りください。

中段目の高齢者の健康のところ、1つ目の指標になりますが、65歳以上の第1号被保険者の要介護認定の割合が増えておりまして、またその3つ目の指標にある低栄養傾向の高齢者の割合が増えております。

同じく29ページのその一番下のところの健康を支え、守るための社会環境の整備というところでは、1つ目の指標、自分と地域の人たちのつながりが強いほうだと思える割合が減少しております。

30 ページをごらんください。

中段のところにあります身体活動、運動のところ、2つ目の指標です。運動習慣者の割合が減少しておりまして、また3つ目の指標に上げています運動不足を感じている人の割合が増加しております。

同じく一番下の休養のところですけども、1つ目の指標、睡眠による休養が十分にとれていない人の割合が増えております。

右側の31ページの飲酒のところになりますけれども、そこで女性に関してですが、特に妊娠中の飲酒の割合が増えております。また、女性の生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている女性の方の割合も増えております。

以上が目標を達成できていない主な項目になります。

33 ページをお開きください。

こちらは、最初にカラーの冊子でダイジェスト版の概念図にあったものを評価した指標を72項目それぞれ1から5番の柱ごとに整理してみた図になります。

健康づくり計画は、中間評価になりますので、方針や方向性については、これまでと変わらずに引き続いて生活習慣病とその原因である生活習慣の改善を中心とした1次予防に重点を置くとともに、合併症の発症や病状進展などの重症化予防を重視して取り組みます。

また、行政だけが旗を振って進むような上から押しつけるものでもありませんので、市民レベルでの理解を得るための今後取り組みが必要と考えておりま

	<p>す。</p> <p>この図の右上のヘルス・プロモーションの理念の図にありますように、一人一人の主体的な健康づくり活動を社会全体みんなで支えて、市民や地域、行政が一丸となって健康づくりの取り組みを進め、市民の健康寿命のさらなる延伸を目指したいと思っております。</p> <p>また、中間評価によって特に評価CとDの変わらなかつたり悪化している項目については、充実強化すべき項目として今回確認できましたので、今後より一層の取り組みが必要であることから、重点的に取り組むべき内容の整理を今後行いまして、さらなる改善につなげていけたらと思っております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>資料の分量がかなり多くなってきたので、なかなか整理するのが難しいなど思ったんですけども、何か御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>私のほうから聞きたいんですけども、この自分が健康であると自覚している期間というのは、これはいわゆる健康寿命のことですか。</p>
会長	<p>アンケートで、もう主観的にアンケートでとった回答の部分になりますけど、一応この健康寿命のところの一つの指標として含まれているんですが。</p>
事務局	<p>国が出しているやり方とは少し数値が違いますね。</p>
会長	<p>そうですね。主観的なところの部分になって。</p>
事務局	<p>何か短いなと思って。</p>
会長	<p>そうですね、短い。</p>
事務局	<p>要は、自分の健康観に基づいたものですので、介護とか、要するにこの要介護期間を除いた年数というわけではない。</p>
事務局	<p>そうですね。今回こちらのアンケートのほうで自覚している期間の平均というところではありますけれども、この健康寿命の指標の考え方として厚労省から出ているところと言う、日常生活動作が自立している期間の平均というところでは介護のほうの要介護度に関するデータなんかもあるので、そちらを使って今後指標として出せたらいいのかなというところの、今のところそういう考えはあるんですが。</p>
会長	<p>いや、男性 55 歳というたら、何か 55 過ぎたら寝たきりになるのかなって、何か早いなみたいな感じがしたんですけど。でも、策定値と中間評価は同じやり方で出しているということですか、そうすると。策定値と中間評価ってというのは同じやり方で、この期間というものは算出している。</p>
事務局	<p>そうです。策定値と同じ方法です。</p>
会長	<p>そしたら、少しずつ下がってきているようですね。わかりました。</p>
事務局	<p>何かありますでしょうか。</p>
会長	<p>そしたら、ちょっと続いてもう行きたいと思えます。</p>
事務局	<p>議題の(4)の計画の骨子について、事務局より御説明をお願いします。</p>

事務局

計画の骨子の前に、続いて第1次食育推進計画の目標値の達成状況について説明させていただきたいと思います。

資料は、お手元のカラー資料、伊予市食育1・4推進計画「い～よ！いよしの食育物語」概要版になります。

1枚めくっていただいて2ページをごらんください。

一番上です。食育とは、生涯にわたって健康で豊かな人間性を育むため、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。食育を推進する取り組みは幅広い分野にわたるため、市民が一体となって食育を推進するために、平成22年に伊予市食育推進計画を策定いたしました。

このページの④番、計画の期間のところですが、こちらには平成23年4月から平成28年3月とありますが、平成27年に開催されました第7回伊予市食育推進会議におきまして、計画期間を2年間延長することが決まり、平成29年度までになっております。延長した理由は、伊予市健康づくり計画中間評価に合わせることで、健康づくり計画と食育推進計画を総合的に推進し、より伊予市らしい計画を策定していくためです。

この伊予市食育推進計画は、食育を推進するための1つの基本理念と4つの目標を掲げ、市民の協働により食育を推進してまいりました。

この計画の1つの基本理念とは、「食で育み、愛を奏でる、ふるさと伊予市」とし、美しい海、緑豊かな山々、豊富な地場産品のあるこの魅力ある伊予市で、市民が生涯にわたり健全な心身を培いながら、健やかな食生活を実践する力を身につけることです。そして、4つの目標とは、資料6ページをごらんください。

4つの目標とは、大きく1番、栄養、2番、健康、3番、食生活と食文化、4番、地産地消と食の交流です。

資料戻りまして5ページをごらんください。

その4つの基本目標の実現に向けて、その成果や達成度の確認のため、目安となる指標と数値目標を9項目設定しています。その指標の結果について説明いたします。

本日の資料の分厚い資料の34ページをごらんください。

9つの指標について、健康づくりアンケートや学校給食地場産物活用状況調査、平成28年度特定健診結果等分析事業報告書の実績値から、評価基準を、A目標に達した、B目標に達していないが改善傾向にある、C変わらない、D悪化している、E評価困難の5段階で評価しました。

指標1、朝食を毎日食べる人の割合は、小学5年生が91.3%から83.8%に減少、中学2年生が88.4%から83.3%に減少しました。20歳代は57.1%から66.7%に増加しました。

指標2、主食、主菜、副菜のそろった食事を1日に2食以上とっている人の

会長  
事務局

うち、30代の割合です。50.0%から46.7%に減少しました。

指標3、朝食に野菜料理を1皿以上食べる人の割合は、22.6%から32.4%に増え、朝食の野菜の摂取状況は改善しました。

指標4、1日に3回以上歯みがきをしている人の割合は、25.9%から40.0%に増加しました。

指標5、食事の挨拶をする人の割合は、44.4%から46.0%に増加しました。

指標6、食事づくりに参加する20歳以上の男性の割合は、48.5%から32.3%に減少し、悪化しました。

指標7、農業、漁業、林業等の体験をしたことがある小学5年生割合は、82.4%から87.6%に増え、改善傾向にあります。中学2年生の割合も、81.5%から83.6%に増えました。

指標8、学校給食における伊予市産の地場産品を使用する割合は、13.4%から15.0%に増えました。

指標9、特定健康診査受診率は、22.1%から26.5%に増えました。

今後の食育の推進については、第1次計画の取り組みにより、一定程度成果が上がっているものの、達成状況をあらゆる客観的な指標として設定した目標数値の結果、D判定であった、朝食を毎日食べる人の割合、主食、主菜、副菜のそろった食事を1日に2食以上とっている人の割合、食事づくりに参加する人の割合について、引き続き取り組む課題として残しつつ、第1次計画の基本方針を継承し、食をめぐる環境の変化を踏まえながら、新たな方針、目標を考えていきます。

以上で食育の評価の説明を終わります。

もう引き続き、骨子の説明行ってください。

引き続き骨子の説明をいたします。

お手元の資料の36ページをごらんください。骨子案というところで、36ページにあります。

次期計画では、第2次伊予市健康づくり計画の中間評価と食育推進計画の最終評価の機会を捉えまして、相関関係にあります健康と食育の分野を一冊の計画書にまとめて策定をしていき、伊予市のさらなる健康づくり、食育を推進していくものでございます。

今回、章立ての大まかな構成を示しております。5章立てで、最後に資料編が来るというイメージで今後つくり込みを進めてまいります。今後、国の動向などを踏まえまして、追加、変更を行う前提のものでございますが、簡単に章ごとに概略的な説明をさせていただきます。

第1章ですけれども、計画策定に当たりまして趣旨、位置づけ、計画の期間や基本方針、計画の策定体制などの基本的な考え方を記載する予定としております。

第2章では、統計データの整理や課題の抽出を行って、社会状況の変化や伊



予市民の健康状況を把握していきたいと考えております。

第3章では、まず健康づくり計画の中間評価について記載します。趣旨とか方法、数値目標の達成状況を記載しまして、今後の方向性及び取り組みにつきましては、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を大目標に掲げまして、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底や健康を支え、守るための社会環境の整備など、これまでと同様に4つの基本的な方向性を柱にしまして、取り組み内容について、これまでの取り組みというのを基本的に検証しつつ、強化または優先的な取り組み、新規の取り組みについてわかりやすく整理して記載する予定でございます。

なお、これまで健康づくり計画に内包の特定健康診査等実施計画につきましては、29年度で計画期間が終了となりまして、今年度最終評価となっております。今回の中間評価において、関連する指標としてこれまでどおり健康づくり計画の中に特定健診の受診率や特定保健指導の実施率なども含まれますけれども、特定健康診査等実施計画書としては、今後第2期データヘルス計画というものがございまして、そちらのほうの策定とあわせまして一冊の計画書にまとめていくこととしております。

第4章になりますが、第4章では、第2次食育推進計画について記載をしていきます。第1次計画の指標の評価を行って、食をめぐる現状と課題を整理し、新たな食育推進の目標や施策について取り組みも記載していく予定でございます。

最後、第5章につきましては、計画の推進の方法や評価の方法などを記載しまして、参考資料には、関連要綱や計画の策定経過、アンケート結果等を記載する予定でございます。

簡単ではありますが、計画の骨子案の説明につきましては以上でございます。

ありがとうございました。

今の骨子案については何か御意見、御質問等ありませんでしょうか。

少し分量が多いので、ちょっと絞っていかないとなかなか協議もしにくいかなというふうには思っていますけれども、これまで(1)から(4)のところまで事務局のほうから説明をしていただきました。ここから自由意見ということで、それぞれの委員さんの方々から、今の話を聞いて健康づくり・食育推進計画、こういったところを一緒に考えていきたいなというふうに考えております。何でも構いませんので、御意見とか、あるいはその内容についてお話、説明していただいた伊予市の行政の方への質問等ありましたら御自由に発言をしていただきたいと思いますけれども、何かございませんでしょうか。

稲田先生、どうぞ。

肝疾患の肝がんのC型肝炎、B型もそうですけど、C型は5年ぐらい前からもういい薬ができて、ほとんどウイルスが駆除できている状態ですけども、

会長

副会長

事務局	<p>時々やっぱりウイルス検査を受けてなくて、ウイルスはありますので、そのあたりのC型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルスの最近の受診傾向について、ここ5年ぐらいの、最近特に上がったとか、余り変わらないとか、そのあたりどうでしょうか。</p> <p>すみません、手元にデータとして持ってないですけども、保健所のほうでも肝炎のウイルス検査のほうの実施もしております、伊予市におきましては早くから肝炎ウイルス検診のほうを実施してきているところがございます。最近、新薬が出まして、飲み薬で治る時代だということで、検診を通じて私たちも普及啓発をしているところがございますが、受診率は上がってはきております。また、やはりまだまだ少し要精検という形で精検率のほうもあるというのが現状です。</p> <p>感染源対策というところではなくて、伊予市におきましては肝炎から肝がんに移行させないということが重要な取り組みだと認識しております。まだまだ受けていない方も多いですし、またせっかく受けたのに受診につながっていない方もいらっしゃいます。医療もかなり進歩をしてきておりますので、正しい情報を伝えていくというのが今後私たちに課せられた取り組みかなというふうに認識しております。</p>
会長	<p>少しやっぱり肝がんのほう、SMRは依然としてちょっと高いので、これSMRっていうのは100を基準にして、何倍多いかって見る指標でして、男性の331というのは、これ全国を100にしているんですかね、全国に比べるとちょっと3倍ぐらい死亡率が高い状況が続いているということだろうと思います。</p> <p>これは節目健診でやっているんですかね、節目健診でやる。節目じゃないか、20歳以上ですかね。20歳以上で特に国保の方だけじゃないです。受診勧奨等が今後必要になってくるんだろうとは思いますが。</p>
荒木委員	<p>はい、どうぞ。荒木さん、どうぞ。</p> <p>その肝炎検査の促進につきましては、愛媛県のほうでも啓発を進めてまいっておるところでございますし、さらにそれを積極的に進めようという段階でございます。未受検者を減らす、受ける人の数を例えば10万人から13万人ぐらいに目標を高く掲げるというようなことで進めております。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>そのほか何かございませんでしょうか。</p>
荒木委員	<p>別にもう一つ。</p> <p>どうぞ、はい。</p>
会長 荒木委員	<p>中間評価の達成状況で、AからDまでございますが、例えばAといういい評価であったとしても、その目標がただ増やすというだけであれば、ほんのわずか増えただけでもAになってしまう、逆にD、Eの場合もそういうこともあり得るというふうにも思いますし、そういった達成状況のある意味精査をしてい</p>

<p>会長</p>	<p>かなきゃいけないなと感じました。そういった面でいろいろあって大変かなというふうにも思いますので、何か作業部会等を開かれる予定ございましたら、私どももお手伝いできればというふうには思います。</p> <p>あと、そのがん検診の中間評価でD評価になっていますけども、例えば国民生活基礎調査による愛媛県のがん検診受診率っていうのは、3年ごとに見てみるとだんだんよくなってきてます。そういう傾向と逆行しているっていうことは、統計上の何かとり方の問題もあるかもしれません。そういったものも精査していかなければいけないだろうと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>その辺はちょっと保健所に指導いただいて、少し見直しするとかお願いしたいなと思います。</p>
<p>西田委員 会長 西田委員</p>	<p>確かにさっきの肝がんのSMR、女性が244で評価Aというのもちょっと、減ったのは減ったでしょうけど、ちょっと評価Aっていうのは対策としてはもう少し頑張っていけないといけないところかなと思いますので、そのあたりかなと思います。</p> <p>そのほか何かございませんでしょうか。</p> <p>済みません。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>西田委員</p>	<p>先ほど睡眠のところの調査、アンケートありましたけども、ちょっと最近スマホとかそういうので夜遅くまでやっているという子供さんも結構あるということで、その辺のところですね。夜、スマホしていて、何時ぐらいに寝ていますかというのは質問上は今のところは書かれてなかったんですよ。学生もですが、若い人も、お年寄りも少ないかと思いますが、それで今学校でも結構睡眠不足で登校する子供さんがいて、保健室に行かれる子供さんが増えとるといような傾向もありますので、その辺も一回、次のアンケートのときに見ていただいて、何か対策とれるものがあれば、やっていったらなと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>そうですね。これ朝食の喫食が減っているというのは、恐らくもう起きる時間が遅くて、もう食べる時間がないというような、そんなことになっているんじゃないかなと思いますので、朝食のとり割合が減ってきているというのは、ある意味ちょっと睡眠の問題も絡んでいるところがあるかなと思いますので、そのあたりも大事なところかなと思います。</p> <p>ほかに何か、よくなっているところはいいですけど、何か悪くなっているところをもう少しそれぞれのお立場から少し御意見いただけるといいかなと思いますけれども、どうでしょうか。</p>
<p>吉澤委員</p>	<p>失礼します。健康管理に失敗した者から言うのもどうかと思いますが、もともと食品については栄養素というふうな考え方が一般的にはないかなと。私自</p>

	<p>身も単なるおなかを太らす食べ物というような位置づけで食べ物を見てしまうので、これらの概念とか目標は非常にすばらしいなと思いますが、到達できなかったD評価とかC評価ですか、健康についても食育についてもですが、その辺がなぜそうなったのかというのは、実は非常に大事なのではないかなと。どうして達成できなかったかということがきちっと評価できてないと、次の計画をどうするかということにはつながらない。ただ単に数字合わせみたいなことにひよっとしたらなるのではないかなというふうに思います。是非その辺を事務局大変かと思いますが、お願いをしておきたいなと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございました。</p> <p>わかる、なかなか考察というか、分析は難しいところがあるんですけども、そのあたり理由というところで何か思い当たるところがあれば、また御意見いただければと思いますが。</p>
<p>吉澤委員</p>	<p>たびたび申しわけないですが、年寄りの立場から言いまして、具体的に統計とったわけではないですけど、私の近所の方ではサプリメント、いわゆる膝が悪いついていうふうな評価の中に関連しますが、ヒアルロン酸みたいな、何かそういうものをほとんどの方が使っているとか、あるいは栄養ドリンクをほとんど毎日飲んでいるっていった方もおられて、そういう人たちが一体健康管理をどういうふう考えているのかなというのが非常に心配をしております。すごくサプリメントの宣伝が上手なので、何かこれさえ使っとると全て健康になるみたいな錯覚をしそうぐらいテレビでは毎日してまして、食品についてはそういったことがないというふうなこともありますんで、その辺を是非何かいいアイデアがあったら検討してほしいなと、私自身はいいアイデアが浮かばんですけど、そういうふうをお願いをしてみたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>情報提供というのですか、正しい情報をいかに、テレビでコマーシャルしているのは大体営利目的ですから、最初無料サンプルをもらって、ずっと飲み続けたら幾らになるんだろうみたいなところはちょっとわからないですけど、効くものと効かないものは確かにありますので、その辺どうやって正しい情報を流すかっていうのはなかなか難しいところでもあるんで、その辺も少しアイデアを出していただければというふうに思います。</p> <p>あとどうでしょうか。ちょっと時間が大体3時ぐらいで終わる予定にしていたんで、もうそろそろ時間になってはきましたが、何か。</p> <p>なかなか学校関係の指標を少し、食育のところも先ほどの朝食じゃないですけども、主食、主菜、副菜、その他2食以上とっている人の割合とか減ってきているし、この食事の食事づくりに参加する人の割合というのは、策定時48.5っていうのは何か多過ぎたような気もするんですけども、これが少し減ってきたというのもあったりして、そういう食への関心が少し薄くなっているのかなというような気がしておりますけども、何か。</p> <p>また、伊予市、今回は伊予市の中での計画ですので、そういう伊予市の特徴</p>

的な何か風習だったり習慣だったりしたものがこういったところに反映しているのであれば、そういったところを見直すきっかけになるのかなというふうに思いますけども、何かないでしょうか。

この 29 ページの健康を支え、守るための社会環境の整備で、自分と地域の人たちのつながりが強いほうだと思える割合が減ってきているというのは、これがちょっと何か今話を聞いて、何でだろうというふうに思ったのですけども、どんなんですかね、何で減るのですかね。むしろ強くなっていてもいいのかなと思ってみたりもしますけども。どうでしょうか、何かお気づきのところとかないでしょうか。

いずれにしても、そういう数値が落ちているところには、やっぱり原因があると思いますので、その原因をしっかりと分析して、どこを突くとよくなるかっていうところを少し作戦といいますか、計画を立てていく必要があるのだろうなというふうには思います。

今日は初めての、資料はいただいていたけども、じっくり見たのは初めてでしたので、余りよく理解もできてないところもありますけど、また今日のような話を聞いて、次回の第 2 回目のときに少しまた協議する時間がありますので、そういったところでも御意見をいただけるといいかなというふうに思います。

何か追加するような事柄とかないでしょうか。

本来であれば、皆さんに発言していただけたらというふうに思っており、時間があればマイクを回していけばよかったんですけども、時間が押していますので、このあたりで協議は終わりたいと思います。

それでは、以上をもちまして議事進行のほうを終わらせていただきます。今日はどうも御協力ありがとうございました。

齊藤会長様ありがとうございました。

最後に、その他になりますが、事務局より次回の予定について説明をさせていただければと考えております。

次回の協議会につきましては、11 月上旬の開催を予定しております。次回開催までに、事務局案で初回の素案というものを作成いたしまして、事前に委員の皆様にお送りさせていただきたいと考えております。その内容を見ていただいて、次回、第 2 回の協議会でその内容についての御意見を賜りながら計画のほうを作成してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

長時間にわたりましての御審議、本当どうもありがとうございました。

以上をもちまして伊予市健康づくり・食育推進協議会第 1 回目を閉会いたします。お気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。

午後 3 時 1 0 分 閉会

事務局

